

進路支援

各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座(セミナー)に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する制度です。

●国家公務員採用総合職試験支援奨学金制度

対 象	学部学生 2年生後期に実施する選考試験を受験し、本学指定の外部セミナー等を指定した期間を通して受講できる者
給付金額	本学指定の外部セミナー等の受講料及びセミナー教材費
問合せ先	キャリアサポート課

願書配布 11月 出願 12月 試験実施 12月 授業開始 2月

●公認会計士試験支援奨学金制度

対 象	日商簿記検定 2級に合格した者、または日商簿記検定 2級相当の実力があると認められた者で、学部学生 1年生後期に実施する選考試験に合格し、本学指定の外部セミナー等を指定された期間を通して受講できる者
給付金額	本学指定の外部セミナー等の受講料
問合せ先	キャリアサポート課

願書配布 12月 出願 1月 試験実施 1月 受講開始 3月

●教員採用候補者選考試験支援奨学金制度

対 象	教職課程履修者の学部学生 3年生以上(子ども支援学科学生は 2年生以上)で、成績上位の者。本学の指定する講座等を受講し、教員採用試験を受験すること。
給付金額	本学指定の講座等の受講料及び教材費相当額
問合せ先	教職センター/たまプラーザ事務課

願書配布 4月 出願 5月 採用者発表 6月

●教職支援奨学金

対 象	卒業後、教職を志す堅固なる意思を持つ者 学部学生 2年生以上
給付金額	20万円限度
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 4月 出願 5月 採用者発表 7月

学外奨学金

日本学生支援機構奨学金

名 称	種 類	奨学金額	対 象	問い合わせ先
給付奨学金	給 費	自宅通学：3万円、自宅外通学：4万円	平成31年度に大学(学部)に進学を予定している人であって、以下のA又はBのいずれかに該当する人 A.住民税非課税世帯(市町村民税所得割額が0円)の人、又は生活保護受給世帯の人 B.社会的養護を必要とする予約申込制(高校在学中申込み)であり、予約採用候補者は入学後に別途手続きが必要です。	学生生活課/ たまプラーザ事務課
第一種奨学金	貸 与 (無利子)	[平成30年度以降入学者] 自宅通学：2万円・3万円・4万円・5万円4千円から選択 自宅外通学：2万円・3万円・4万円・5万円・6万円4千円から選択 ※家計支持者の年収金額により、貸与可能最高月額が異なります。 [平成29年度以前入学者] 自宅通学：3万円・5万円4千円から選択 自宅外通学：3万円・5万円4千円・6万円4千円から選択	全年学(原則修業年限4年間貸与可能) 入学後ガイダンスを実施 予約採用候補(高校在学中申込み)者は、入学後に別途手続きが必要です。	学生生活課/ たまプラーザ事務課
第二種奨学金	貸 与 (有利子)	2万円・3万円・4万円・5万円・6万円・7万円・8万円・9万円・10万円・11万円・12万円から選択		

その他

博報教育成奨学金 (公益財団法人博報児童教育振興会)	給 費	新入生を対象とし、卒業までの4年間、年額120万円(月額10万円)を支給(自宅外生には年額60万円(月額5万円)を別途支給) 第1推薦枠(1名)：日本文学科または中国文学科に在籍し、中学校・高等学校国語科教員を志望する1年生 第2推薦枠(1名)：初等教育学科に在籍し、小学校教員を志望する1年生 入学後、学内説明会のうえ、学内選考(書類選考、1次選考=小論文、2次選考=面接)を実施します ※応募にあたっては、入学時学力診断の結果、国語・数学・英語の順位が、いずれも大学全体の平均以上が必要です	教職センター/ たまプラーザ事務課
地方公共団体奨学金 民間団体奨学金 民社関係奨学金	給費/貸与	給付金額・出願条件は団体により異なります。 ※神社関係奨学金の平成30年度募集実績は3件です ※大学HP「学外奨学金」をご覧ください	学生生活課/ たまプラーザ事務課

提携教育ローン 入学手続き時に入学金等の期限内納入が難しい場合は、本学提携金融機関の教育ローンをご検討ください。また在学中、奨学金以外の負担軽減手段としてもご検討ください。

名 称	概 要	問い合わせ先
みずほ銀行 三菱UFJ銀行	「銀行提携教育ローン」一般の銀行教育ローンより低金利で融資を受けることができます	各金融機関にご相談ください
オリコ学費サポートプラン	ご利用金額は10万円以上500万円以下です。入学金、授業料、教材費、実習費、寮費等の大学に支払う費用にご利用いただけます	オリエントコーポレーション 学費サポートデスク 0120-517-325
セディナ学費ローン	ご利用金額は原則4万円以上500万円以下です。入学金、授業料、教材費等の大学に支払う費用にご利用いただけます	セディナカスタマーセンター 0120-686-909

民間銀行より、低金利で借り入れのできる日本政策金融公庫の「国の教育ローン」もあります。詳細は、日本政策金融公庫のホームページをご覧ください。

名 称	概 要	問い合わせ先
国の教育ローン [日本政策金融公庫]	限度額350万円、固定金利 入学金、授業料、教材費、寮費等の大学に支払う学納金等、入学時の費用以外にも、在学中の資金としてご利用いただけます	教育ローンコールセンター 0570-008656

奨学金に関するQ&A

Q 入学前に支給される学内奨学金はありますか？

A 入学前に支給される学内奨学金はありません。期限内に入学金等の納入が難しい場合は、提携教育ローンや都道府県の貸付金等をご検討ください。

Q 奨学金の出願時期はいつですか？

A 奨学金によって出願時期は異なります。入学後にガイダンスを実施いたしますので、是非参加してください。

Q 給付と貸与はどう違うのですか？

A 「給付」の奨学金は原則返還する必要がありません。國學院大學が独自に実施している奨学金は全てが「給付型」です。「貸与」の奨学金は、卒業後一定期間をかけて返済していきます。「貸与」には無利子・有利子ものや、条件を満たすと、そのあとの返済が免除される奨学金もありますので、募集要項の内容をよく確認して出願してください。

Q 奨学金は申請すれば必ず採用されますか？

A 大学独自に実施する奨学金は採用枠や選考条件(家計状況・学業成績・人物等)がありますので、必ず全員が採用されるとは限りません。

Q 複数の奨学金を同時に受給することは可能ですか？

A 奨学金によっては、複数の奨学金を同時に受給することを認めていないものもあります。詳細は窓口までお問い合わせください。

Q 奨学金は卒業まで受けられますか？

A 日本学生支援機構奨学金は毎年継続手続(成績基準あり)を行うことで標準修業年限まで給付・貸与されます。学内奨学金は単年度採用がほとんどなので、希望者は毎年出願が可能です。

Q 奨学金の申請は、いつどのように行いますか？

A 奨学金の募集情報は、各キャンパスの奨学金掲示板や学内メールなどで順次お知らせします。申請時期は奨学金によって異なりますが、所定の申請期限までに必要書類を揃え、担当窓口へ提出してください。

Q 申請にはどのような書類が必要ですか？

A 経済支援の奨学金の場合、家計支持者の収入に関する証明書類などを提出していただきます。必要な書類は奨学金によって異なりますので、詳細はそれぞれの募集要項を参照してください。

Q 奨学金の選考では何が重視されるのですか？

A それぞれの奨学金の趣旨によって重視するポイントが異なり、家計状況を重視するもの、家計状況と成績両方を重視するものがあります。奨学金によっては、さらに面接や課題を課す場合もあります。

相談窓口

奨学金ごとに相談窓口が異なります。奨学金制度一覧で担当課をご確認ください。

渋谷 キャンパス	入学課	Tel. 03-5466-0141	国際交流課	Tel. 03-5778-7061
	学生生活課	Tel. 03-5466-0146	キャリアサポート課	Tel. 03-5466-0151
	神道研修事務課	Tel. 03-5466-0155	教職センター	Tel. 03-5466-0152

たまプラーザ
キャンパス たまプラーザ事務課 Tel. 045-904-7700

www.kokugakuin.ac.jp



奨学金のご案内

平成31年度(2019年度) 学部生対象



もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

國學院大學では独自の奨学金として、勉学への熱意を経済面から支援するとともに、自らの多面的な能力、可能性を伸ばし、夢の実現に向けて学業に専念できるよう、目的に応じた各種奨学金制度を用意しています。

学業奨励支援 特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度です。

● 國學院大學成績優秀者奨学制度

対 象	学部2年生以上(前年度の成績に基づく)
給付金額	成績最優秀者70万円 成績優秀者30万・15万
問合せ先	学生生活課



修学経済支援 向学心と勉学への熱意を持ちながら、経済的理由で修学が困難な学生に対し、学費の負担を減らし、学業の継続を支援する制度です。

● 國學院大學修学支援奨学金制度(前期・後期)

本奨学金制度は、経済的に困窮する学部学生の学業を奨励し、経済的支援を行うことを目的としています。

対 象	経済的に困窮し、修学意欲が認められる学部学生 ※前期採用は2年生以上が対象
給付金額	前期採用 30万円(困窮度高位で学業成績が優秀 (GPA3.0以上)の者は40万円支給) 後期採用 15万円
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課
採用人数	185名(平成30年度実績)

前期 願書配布 12月 出願 3月 採用者発表 6月

後期 願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

● 國學院大學神道文化学部神職子女奨学金制度

対 象	神職子女の育英と神職の後継者を育成する制度 新入生は神道・宗教特別選考制度入学者全員 2年生以上は1年次で受給した学生で、神職課程と 神社実習を履修している成績優秀(GPA2.0以上)な 学生各学年20名上限
給付金額	新入生自宅外通学：40万円 新入生自宅通学：20万円 2年生以上：10万円
問合せ先	神道研修事務課

入学前 出願(選考) 採用者発表 6月

● 國學院大學留学生奨学金制度

対 象	学部留学生1～4年生で、日本国の査証資格「留学」 を取得している者
給付金額	20万円限度
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課
採用人数	20名程度

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

● 大規模災害学費減免制度

対 象	大規模災害により被災し、修学が困難になった学部 学生1～4年生であり、かつ日本学生支援機構 奨学金の受給者または採用予定者
給付金額	新入生入学金全額 学費等の全額・7割・半額・3割・1割減免
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

災害発生後、6か月間、随時受付

● 東日本大震災学費減免制度(2020年度募集停止予定)

対 象	東日本大震災により被災し、修学が困難になった学部 学生1～4年生であり、かつ日本学生支援機構奨 学金の受給者または採用予定者
給付金額	新入生入学金全額 学費等の全額・半額・3割・1 割減免
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課
採用人数	14名(平成30年度実績)

願書配布 4月 出願 6月 採用者発表 9月

● 國學院大學若木育成会学費等支援制度

対 象	入学後、家計支持者の死亡により家計の経済事情が 急変した学部学生1～4年生
給付金額	年間学費相当額
給付期間	単年度
問合せ先	校友課

随時受付

● 特例給費奨学金制度

対 象	入学後、家計支持者の経済状況が急変した学部学 生1～4年生(事由発生より6ヶ月以内)
給付金額	50万円限度
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

随時受付



● あすなろ奨学金

本奨学金は、元本学職員であった故川副登美氏の篤志により、勉学意欲があり、経済的事由により著しく修学が困難となった学生の勉学助成のために設けられたものです。

対 象	勉学意欲があり経済的理由により修学が困難な者(学 部学生2～4年生)
給付金額	30万円
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月



● 教育ローン利子補給制度

対 象	本学入学の際及び在学中に、教育ローンを借り入 れた学部学生1～4年生
給付金額	5万円限度
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

● 滝川市地方創生支援奨学金制度

対 象	國學院大學北海道短期大学部在学中に、「國學院大 學北海道短期大学部豊かな地域創生人材養成奨学 金」を受給した者 かつ卒業後、滝川市の公共団体と地元産業界、職 業団体等に就職を希望し、地域貢献に寄与する者
給付金額	授業料の半額
給付期間	原則2年間対象
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 4月 出願 5月 奨学金振込 7月

● カピー奨学金

本奨学金は、元本学職員であった放生章子氏の篤志により、向学心があり、経済的事由により著しく修学が困難となった学生の勉学助成のために設けられたものです。

対 象	向学心があり、経済的理由により修学が困難な者 (学部学生1～4年生)
給付金額	30万円
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

● 田村祥浩君記念奨学金

本奨学金は、元本学学生故田村祥浩君のご遺族により、寄付された金員を基金としたものです。

対 象	卒業後、神職または神道に関する 研究職を志す者
給付金額	15万円
給付期間	単年度
問合せ先	学生生活課

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

海外活動支援

海外の大学への留学を希望する学生に対して経済的な負担を減らし、支援する制度です。

● 國學院大學協定留学及び認定留学奨学金制度

対 象	協定留学又は認定留学に参加する者
給付金額	1学期につき 15万円
問合せ先	国際交流課

留学決定 出願 各学期前奨学金振込

● 國學院大學セメスター留学学習奨励金制度

対 象	セメスター留学において優れた学修成果を収めた者
給付金額	10万円
問合せ先	国際交流課

願書配布 2月 出願 3月 奨学金振込 4月

● 國學院大學短期留学グローバル・チャレンジ奨学金制度

本学が実施する短期留学プログラムに初めて参加する学部学生のうち、優れた学修成果を収めた学生に対し、奨学金を給付することによって、留学を奨励し、経済援助を行うことを目的としています。

対 象	本学が実施する短期留学プログラムに初めて参加す る学部学生のうち、優れた学修成果を収めた者
給付金額	10万円
問合せ先	国際交流課

短期留学後 選考 奨学金振込



● 弘田ふるさと奨学金

本奨学金は、國學院大學経済学部名誉教授である元経済学部教授弘田嘉男先生の寄付金を基に制定され、家計が困窮している地方出身学生に対し、在学時の経済的な負担と不安を軽減することを目的としています。

対 象	家計が困窮している地方出身者(1都3県を除く)の新入生であり、 自宅外通学者かつ学業成績良好な者 國學院大學修学支援奨学金後期に出願した学生より選考を行う
給付金額	70万円(年間授業料相当額)
給付期間	原則4年間対象(継続審査あり)
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課

願書配布 7月 出願 9月 採用者発表 11月

● 國學院大學協定留学「標」奨学金制度

協定留学に参加する学部学生のうち、特に優秀と認められた者に対し、学業を奨励し、経済援助を行うことを目的としています。

対 象	2学期間の協定留学を國學院大學より許可さ れ、留学先大学への留学手続きを完了した学部 学生のうち、特に優秀と認められた者
給付金額	月額6～8万円(留学期間中)
問合せ先	国際交流課

協定留学出願・選考と同時に出願と選考 留学期間中毎月奨学金振込

● 國學院大學セメスター留学助成金制度

対 象	セメスター留学に参加する者
給付金額	年間授業料の半額相当額 (平成30年度は35万円限度)
問合せ先	国際交流課

願書配布 4月 出願 5月 奨学金振込 7月

● 休学留学に伴う授業料減免制度

対 象	私費による「語学研修等」を目的として休学した者
給付金額	授業料・維持費全額免除・施設設備費半額免除 (1年休学の場合)
問合せ先	学生生活課/たまプラーザ事務課